八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 27 年 10 月 八王子市生涯学習審議会		
日 時	平成 27 年 10 月 29 日（木） 午後 7 時 00 分～9 時 00 分		
場 所	八王子市生涯学習センター 第 2 学習室		
出席者氏名	委 員	三浦眞一 岡本夢乃 炭谷晃男 石川智子 碓井恵夫 小倉艶子 加藤方浩 小林正博 小宮山博仁 村上ひろみ	
	事務局	井上生涯学習政策課長 塩澤主査 川久保主事 小阪図書館部長 村田南大沢図書館長 新堀生涯学習センター図書館長 新井学習支援課長	
欠席者氏名	尾暮亮 浅井揚三 柴田彩千子		
議 事 案 件	<p>《議題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次読書のまち八王子推進計画の事業評価について 		
	<p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都功労者表彰について ・ 教育委員会定例会における関連事項について ・ 「八王子市生涯学習審議会会議開催要項」の改正について ・ 市政世論調査結果について ・ 東京都市町村社会教育委員連絡協議会行事について ・ 関東甲信越静社会教育研究大会について ・ 生涯学習フェスティバルの実施について ・ 中央図書館みなみ野分室の開室状況について ・ 図書館まつりの実施について 		
配 付 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習関連事業評価シート ・ 都市社連協 第 1 回理事会配布資料 		
	<p>1. 開 会</p> <p>2. 定足数の確認 出席者 10 名、会議の成立を確認</p> <p>3. 会議録署名委員 小林委員を指名</p> <p>4. 議 事</p> <p>議事案件 第 2 次読書のまち八王子推進計画の事業評価について 会議に先立ち委員各位に資料を送付。第 2 次読書のまち八王子推進計画における 5 カ年の評価をしていただく。 説明者：南大沢図書館長</p> <p>はじめに（図書館部長より挨拶） 日頃の図書館関連の審議及びみなみ野分室開室における式典出席を感謝する。第本日は 2 次読書のまち八王子推進計画の事業評価について意見を頂戴したい。</p>		

1. 第2次読書のまち八王子推進計画の全体評価及び生涯読書活動の推進計画の評価について

委員：既に連携している8市以外の市との連携について実現しなかったということだが、市民ニーズはあるのか。

南大沢図書館長：多摩の図書館長協議会等で連携の話をしているが、近隣市でない市とはなかなか話が進んでいない。中央線沿線では、立川市とも少し話をしたが、八王子市民は立川に通勤等している方もいることから、メリットがあると考えますが、立川市民にとっては、八王子市に来て本を借りるメリットがあまり想定されないことから、話は進んでいない。

委員：近隣市だけではなく、姉妹都市の日光市や苫小牧市との連携も考えてみてはどうか。子ども達交流があり、千人同心や開拓関連の資料を借りる等、市民に公開することもできるのでは。また、八王子市は山梨県から移ってきた方もおおいことから、山梨県との連携を考えてもいいのではないかと。

2. 子ども読書活動推進計画の評価について

委員：幼児への読み聞かせ事業の実績は記載されているが、小学生への読み聞かせはどうか。また、小学生への紙芝居は効果的と考えるがいかがか。

南大沢図書館長：説明した事業評価説明書には、実績評価の概要を記載しており、詳細評価書で朝読書や高学年による低学年への読み聞かせの実績を記載している。また、小学生への紙芝居については、現在、学校図書館に紙芝居が置いていない学校が多いのではないかと。学校と学校図書館サポーターとの連携の中で、学校で紙芝居を活用するならば、図書館から貸出することは可能である。

委員：図書館ホームページの子ども向けのページを設置したとあるが、子ども達にそのホームページがあることが分かるのか。学校の先生、PTAから保護者や子ども達への宣伝も必要ではないか。また、スマートフォンなどでデータ検索する人も増えているので、子ども達がスマートフォンに子どもページを登録しておいてもらったらどうか。

南大沢図書館長：各学校の学校図書館には、図書館ホームページを検索できるパソコンが設置されており、先生方は図書館ホームページを使って、資料の検索をできることから、先生方には子どもページについては、周知できている。学校の先生から子ども達への図書館利用の紹介や、PTAや保護者から子ども達への周知については、学校図書館サポートセンターなどとの連携し、今後方策を検討する。なお、検索についてはスマートフォンに対応している。

委員：学校図書館の「としよえもん」を見てみたいので資料配布してほしい。

委員：蔦屋 CCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）と図書館流通センター TRC が連携して図書館業務の受注を始めているが、いろいろ新聞をにぎわしている。自治体とのコラボの実態はあるのか。

南大沢図書館長：TRC と CCC が業務提携し、公立図書館業務を受注が始まっているが、神奈川県海老名市などの図書館業務受注において、TRC 側が CCC との業務提携を見直す考えが新聞で出されている。これは、書籍の選書方法や配架方法等について、意見の相違があったと聞いている。CCC については、武雄市図書館の開設からいろいろと新聞をにぎわしており、今後も動向を見守っていききたい。

委員：八王子市としては、今後も図書館業務は直営で運営する方向性か。

南大沢図書館長：現状においては、直営で行う方向で進めている。

委員：新刊が売れないのは、図書館が新刊を貸し出していることが要因として、新刊の貸出を一年延期するようにとの出版社側からの意見を出すとの新聞報道あったが、新刊貸出について八王子の図書館としてはどのような方針なのか。

南大沢図書館長：八王子の図書館としては、現状で貸出規制をする考えはない。この問題は、今までにも図書館協会と出版側で議論し結論が出ていない状況でもあり、読書離れや、出版数や書店数自体が減少してきている中で、本が売れないのが図書館で貸し出していることが要因かは不明であり、また図書館側で規制したとして、確実に売れるようになるのか等、不明な点が多い。また、市民サイドからは図書館で新刊の本を読みたいとのリクエストが非常に多くあることも事実である。

委員：世論調査で、生涯学習をしていない人が 3～4 割いるとの結果が出ている。市民が身近な場所で読書を通じて生涯学習を行うには、身近な場所に図書館があることが必要。今回、みなみ野の地区図書室が分室化されたが、市内の北部や西部地区には公共図書館がない。どのような経緯でみなみ野地区に分室が開室されたのか。また、利用者数が少なくとも公共図書館がない地域に分室を設置する必要があるのではないのか。

南大沢図書館長：市民センター17 館構想の、地域との協働としてセンター運営を行う方針の中で、地域が中心となった読書環境として、ふれあい財団が地区図書室を設置し、住民が運営してきた経緯がある。このため、地区図書室の利用状況と地域住民の意向、及び地域的な偏在解消を加味して、地区図書室の分室化を進めている。みなみ野分室については、もっとも利用が多い地区図書室であり、駅に近いことから今後も利用増加

が見込まれる。また、分室化に対する地域の理解があることから、分室化を行った。今後については、北部や西部地区の分室化を地域との連携の中で進めていきたい。

3. 図書館等の現状評価について

委員：資料2の図書館利用データで、レファレンスの件数がこの5年間で半減している。レファレンスは図書館にとって最も重要な業務の一つである考えるが、件数が半減したのはどういう理由があるのか。

南大沢図書館長：本結果については、事務局としても非常に驚いているところである。窓口でレファレンスが大幅に減っているという印象はないことから、各図書館に確認したところ、レファレンスの統計の取り方が、館によって曖昧であると同時に、軽微なレファレンス件数が記録されなくなっている現状が見えてきた。図書館としても、レファレンスを重視する姿勢に変わりはないことから、統一した統計の取り方を検討する。なお、過去のレファレンス内容の記録をデータ化し、公表する準備を進めているところである。

委員：学校図書館の資料購入費は少なく、図書館からの学校への調べ学習等資料の貸出しについては、非常に助かっている。今後、さらなる利用の増加が考えられるため、学校への調べ学習用蔵書の充実や学校図書館等への支援を進めてほしい。

南大沢図書館長：学校図書館サポーターの増員に伴い、図書館からの調べ学習用等資料の貸出は増加している。このため、来年度は、担当嘱託員を増員する予定であり、学校図書館への支援体制を強化し、貸出用資料を増やしていきたい。

委員：一人あたりの蔵書数が多摩地域では最低ランクであること。また、この5年間で資料購入費が半減しており、図書館が購入すべき資料が購入できていないということなど、図書館のデータをもっと市民にPRすべきではないか。

南大沢図書館長：相模原市や町田市など大きい市は、八王子市と同様に図書館の資料購入予算が少ない傾向にあるが、今後も、図書館情報を積極的に発信し、より多くの市民の図書館利用を推進すると共に、予算確保と蔵書の充実に努め、より一層の市民サービス向上に努めたい。

委員：図書館のIT化が、入館者数が減っている要因の一つではないか。

南大沢図書館長：八王子市は、平成23年度から新しい図書館システムにより利便性が大幅に向上したことにより、図書館ホームページのアクセス数やリクエスト件数が大幅に増加した。この結果として、図書館に足を運ばずに予約し、まとめて借りる人が増えていることが、入館者数が減少している要因の一つと

は考えているが、全般的な傾向として図書館の利用が減っていることもあると考える。

南大沢図書館長：今後も利用者の利便性をさらに向上させる必要があるが、利用者や貸出冊数、レファレンスの相談件数等を増やす努力をしていきたい。

委員：東京都の各市との比較データはあるが、23区との比較はどうなっているのか。

南大沢図書館長：現状では分析していないが、データを集めて分析してみたい。

委員：入館者一人当たりの貸出冊数が、三多摩各市平均で2.29冊が八王子市は1.67冊となっている。八王子は蔵書数が少ないことが要因で借りる冊数が少ないのか。この違いの要因はなにか。

南大沢図書館長：三多摩各市との差については分析していないが、要因はいろいろとあると推測され、分析は難しいと考える。

委員：一部の出版社が、本が売れないのは図書館で新刊本を貸し出していることが要因だとして、新刊本を半年から1年間貸出さないでほしいという話があった。実際にこういうことをすると困るのは出版社ではないかと思うが、図書館としてどう考えているのか。

南大沢図書館長：この問題は図書館協会と出版社側で過去に議論されてきた経緯があるが、結論は出ていないと聞いている。図書館で貸し出すことが原因で、新刊本が売れなくなるのかはどこにも確証はないと考えている。現状では、今までどおり新刊本は購入し、貸し出す方向性である。

第二次読書のまち八王子推進計画の事業評価に対する審議会からの意見について、取りまとめを会長に一任とする。

《報告事項》

- ・東京都功労者表彰について
平成27年度東京都功労者表彰において、当審議会 炭谷晃男副会長が受賞された
- ・教育委員会定例会における関連事項について
教育委員会定例会の議事案件の中から生涯学習関連事項について報告
(会議次第2ページ参照)

報告：生涯学習政策課長

- ・「八王子市生涯学習審議会会議開催要項」の改正について
組織改正等により開催要項の見直しをすべきところ、行っていなかったため、

現状に則した内容で改正を行った。

- ・ 市政世論調査結果について
例年調査を行っている生涯学習全般に加え、家庭教育について設問を設けた。

委員：調査内容が前回と異なっており、経年変化を見ることができない。
共通の項目を設けた方が良い。

生涯学習政策課長：担当所管が総合経営部であるため、伝える。

- ・ 東京都市町村社会教育委員連絡協議会行事について
10月15日開催された、役員会・拡大役員会及び今年度のブロック研修会について報告。

会長：出席した委員は感想を。

委員：自然のサイクルについて勉強になった。

- ・ 関東甲信越静社会教育研究大会について
開催は11月5・6日。三浦会長・小宮山委員が参加予定。

- ・ 生涯学習フェスティバルの実施について
10月24日（土）生涯学習センター（クリエイトホール）にて開催した。
説明者：事務局

- ・ 中央図書館みなみ野分室の開室状況について
説明者：生涯学習センター図書館長

- ・ 図書館まつりの実施について・東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第1回役員会について
7月23日（木）西東京市防災センターで開催され、三浦会長（都市社連協
今年度副会長）と事務局が出席した。
報告：事務局

三浦会長：次回は12月18日（木）午後7時から生涯学習センター
にて開催する。詳細は別途事務局より通知をする。本日
の会議は以上をもって終了する。

5. 閉 会（午後9時00分）

上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市生涯学習審議会会長

八王子市生涯学習審議会委員